

かがやき

会報
第14号

発行 三重県立看護大学同窓会

514-0116 三重県津市夢が丘 1-1-1 e-mail: dousokai@mcn.ac.jp

令和4年12月発行



<http://dosokai.link/mcndousokai/>



Contents

会長挨拶……………	2	同窓会役員……………	4
学長挨拶……………	2	活動報告……………	4
卒業生を追う……………	3	クラス会支援……………	4
総会報告……………	4	その他……………	4
会計報告……………	4		



会長挨拶

この度、令和4年10月の役員会で承認を受け同窓会会長を拝命しました、2期生の岡根利津です。どうぞよろしくお願ひいたします。

2020年以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける日々が続いており、病院や福祉施設、在宅、その他さまざまな療養場所等で感染した方の看護に携わる方や感染予防対策に取りくまれる方、そしてそれぞれのご家族やご自身の感染予防に努められるなど、会員のみなさまも日々奮闘されてきたこととお察しいたします。

この度の役員交代を機に、社会活動も取り戻しつつある流れを受け、これまでの新型コロナウイルス感染症に伴う経験を糧とし、同窓会活動もあらたに取り組んでいきたいと考えております。平成15年に創立され20年を迎えようとする三重県立看護大学同窓会ですが、これからも会員のみなさまに同窓会の活動を知っていただけるよう広く発信していくとともに、みなさまの“声”をお聞かせいただきながら、会員同士の交流の場として機能できるよう取り組んでいきたいと思ひます。今後の同窓会活動に関しまして、みなさまのご支援、ご協力をいただきますよう何卒よろしくお願ひ申し上げます。



三重県立看護大学同窓会 会長 岡根 利津

学長挨拶

2022年（令和4年）4月1日から理事長・学長として三重県立看護大学に着任しています。枠を含めると横6m × 1.5mの窓から見える青空は窓の2/3以上を占め、晴れの日には真っ青な中に真っ白い雲が果敢に泳ぎ始めたりします。皆様の見上げていた空と同じ空間ですか？他の家々がなかった時代に過ごされた方は、雄大な青空をどんなふうにも思っていたのかと着任してから、この青空が大好きになっています。2020年の2月末から新型コロナウイルス感染症により、病院だけではなく大学への立ち入りができない状況となった大学もありました。三重県立看護大学では早期から対面授業を行う努力をしながら過ごされており、現在にいたるまで感染者は出ていますが、クラスターになることはなく、それぞれの学生の皆さんの努力が反映されたものだったと思ひます。



同窓会の皆さんも大学へ来て良いのかを迷っていた方々もいらっしゃることでしょう。本日新たに同窓会長になられた岡根利津さんにお会いし、再開の一步が始まったように感じました。見せていただいた会報に「かがやき」という名称があり、背景は真っ青な青に白い雲だったことを2度見で再確認した次第です。どこかでつながっているということは大切だと思ひます。学生がいなければ大学がありえなかったように、同窓会の皆さんが集えるところが母校です。これからも大学が発展していけるよう、皆さんの力を終結していただけるようお願ひいたします。皆様のお出でを心からお待ちしています。

三重県立看護大学 理事長・学長 片田 範子

卒業生を追う Vol. 5 ～コロナ禍における私の役割～

三重県厚生農業協同組合連合会 松阪中央総合病院 濱口 早弓 短大1看9期

コロナ禍における役割

2020年に世界規模で広まった新型コロナウイルス感染症は、これまでの常識や既成概念を大きく変えてしまいました。この歴史的な苦難は医療業界に大きな影響を与え、私たち看護職にとっても看護の本質である「患者のそばにいて、聴き、触れる」ことを奪われたように感じます。マスクやフェイスシールドが当たり前になっている昨今ですが、看護師たちは伝え方やコミュニケーションの取り方を工夫しながら、患者に接しています。

多くの医療機関では、感染防止やクラスター発生回避のために面会を禁止しています。看護師の役割でもある家族ケアも不十分なままとなりました。直接会って自分の目で状態を確認できないことへの不安や、会えない寂しさから患者の元気がなくなることへの心配など、さまざまです。病院ではiPadを活用して、できる限り家族と過ごせるように取り組んだり、患者の様子を電話で伝えたりしています。

看護管理者として、この3年間で多くの課題に対処してきましたが、失敗も経験し、多くの学びを得ることもできました。適切に感染対策を行うための組織全体への周知の難しさや、多職種連携の重要性、コロナ禍での人材育成など、得られた学びは次なる新興感染症に立ち向かうための糧となるでしょう。



三重県庁患者情報プロジェクトチーム 上野 隆介 大学19期

コロナ禍における県保健師の役割

私は、新型コロナウイルスが日本にやってきて以降、県内の保健所や三重県庁にてコロナ対策業務に従事しています。

保健所では、患者に対する積極的疫学調査や検査・入院の調整（寝たきり患者の家庭訪問での検体採取や介護施設の一斉検査も実施しました）、患者移送、クラスターが発生した施設の対応など、患者や濃厚接触者と直接かかわる業務を中心に行っていました。

しかし、患者が増えるにつれて、保健所職員のみでの対応は困難になり、他部署や外部機関からも多数の応援をいただくようになりました。それ以降は個別事例への対応に加えて、業務調整や応援職員へのレクチャー、困難事例に特化した対応などの災害時の受援側としての役割も求められるようになりました。

現在は三重県庁（コロナ対策本部）に異動し、積極的疫学調査などのコロナ対応に関する県の方針を策定したり、保健所をはじめとする関係機関との連絡調整、療養証明書の対応などを行っています。短い間に国の対応方針が次々と変わることから、どれも正確性やスピード感が強く求められる仕事です。社会的な関心も高く、プレッシャーを感じることもありますが、保健師として、保健所での経験を活かしながら、庁内外の関係機関と連携し、県内の円滑な対応の推進に向けて、引き続き務めていきたいと思っています。



松阪市立中原小学校 養護教諭 稲垣 志芳 大学16期

コロナ禍における学校の現状と養護教諭の役割

令和2年2月28日（金）、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月2日（月）から春季休業の開始日までの一斉休校の通達がありました。児童が下校するまでの数時間で、休校に入る準備と在校生による6年生を送る会の実施に奔走したのを覚えています。

あれから2年が経ち、その間にさらに1回の一斉休校と1回の分散登校を経験しました。今も変わらず、検温、手洗い、換気、マスクの着用、黙食など基本的な感染対策の指導を行いながら、制限のある中での学校生活が続いています。

学校は教育の場です。子どもたちは教科の学習だけでなく、さまざまな体験を通して社会生活に必要なスキルを学んでいます。現在一人一台のタブレット端末が貸与され、分散登校時にはオンラインでの授業も実施しました。学びの保障ができる一方で、画面を通した指導の難しさと体験を通した学びの大切さを実感しています。養護教諭として、感染の流行状況や熱中症の発生リスクなどを考慮しながら、適宜感染対策の指導や助言を行っています。しかし、発達段階や家庭環境の異なる子どもに、感染対策の実施や状況に合わせて対応を変える指導を行うのには本当に苦労しています。よりよい学びのためにという教職員の熱意と感染対策との板挟みになることも多いです。制限のある中で、どうすれば子どもたちの学びの場を守ることができるか、日々奮闘しています。

多くの学校で養護教諭は1人だけです。新規採用から5年たった今も、日々判断に迷い、悩むことがたくさんあります。今後も自己研鑽に努めつつ、子どもたちの成長の手助けができるようにチーム学校で取り組んでいきたいと思っています。



総会報告

令和4年8月6日(土)にオンライン(Zoomミーティング)にて同窓会本部総会を開催しました。総会では、令和2年度及び令和3年度の本部活動報告、決算報告、令和4年度の予算案についての検討・決議が行われました。



会計報告

三重県立看護大学同窓会 決算

令和2年度

収入の部

項目	予算額	収入済額	備考
1 入会金等	1,200,000	1,226,000	令和2年度卒業生分(102名)
2 雑入	150	112	預金利子
3 繰越金	12,679,893	12,679,893	
収入合計	13,880,043	13,906,005	

支出の部

項目	予算額	支出済額	備考
1 事業費	480,000	245,678	印刷、発送委託等
2 一般管理	465,000	127,259	委託費用(会員名・ホームページ管理費、データ投下費)、卒業式スタンド花等
3 支部活動費	240,000	0	
4 予備費	12,695,043	0	
支出合計	13,880,043	372,937	
差引残高	13,533,068		次年度へ繰越

令和3年度

収入の部

項目	予算額	収入済額	備考
1 入会金等	1,200,000	1,108,000	令和3年度卒業生分(91名)
2 雑入	150	114	預金利子
3 繰越金	13,533,068	13,533,068	
収入合計	14,733,218	14,641,182	

支出の部

項目	予算額	支出済額	備考
1 事業費	480,000	0	
2 一般管理	465,000	135,879	委託費用(会員名・ホームページ管理費、データ投下費)、事務用品、卒業式スタンド花等
3 支部活動費	240,000	0	
4 予備費	13,548,218	199,700	卒業生調査負担金
支出合計	14,733,218	335,579	
差引残高	14,305,603		次年度へ繰越

同窓会役員

令和4年度

三重県立看護大学同窓会 役員

執行部役員

役職	氏名	期生
会長	岡根 利津	大学 第2期
副会長	桑原 久美子	大学 第5期
	乾 明菜	大学 第6期
会計	米倉 一美	短大 第7期
	稲垣 志芳	大学 第16期
監事	大平 肇子	短大 第7期
	長谷川 智之	大学 第5期
理事	河合 富美子	短大 第2期



活動報告

令和2年度

- 令和2年12月13日 本部役員会
- 12月 卒業生動向調査(地域交流センターより共同事業として提案があり実施)
- 令和3年3月20日 卒業式

令和3年度

- 令和4年1月8日 第3回公開講座を共催
- 3月19日 卒業式

クラス会支援

同窓生相互の親睦を深める活動の一環として、クラス会の開催支援を行っています。支援内容は、参加者1人あたり500円の開催支援金の給付(但し、当日の出席者が10名以上であること)、ホームページへの開催案内の掲載等をさせて頂いております。

詳しくは、同窓会ホームページをご覧ください。

※お申し込みは、学年代表委員からお願いします。

その他

三重県立看護大学同窓会職場支部の伊勢赤十字病院支部は、令和4年3月をもって解散しました。今後は、引き続き大学支部会員としてご協力いただきますようお願いいたします。